



創立の背景と歴史

ヴォーリズ夫妻の思想は、「神の国建設」という言葉で表現されました。その事業体(建築設計、製薬、医療、教育等)に〈近江兄弟社〉と名づけたのは著名な社会事業家である賀川豊彦です。

ヴォーリズは、アメリカの友人たちや賀川のような有力な支援者、教え子の吉田悦蔵や村田幸一郎、清水安三といった協働者に恵まれ、事業を発展させることができました。ヴォーリズ夫人満喜子は、ヴォーリズと彼の両親の異国での生活を支えながら、自らの意志で保育事業を始めました。

一柳満喜子は1884年(明治17)元・播磨小野藩主一柳末徳子爵の三女として、東京で生まれました。音楽と英語に関心を持ち、神戸女学院音楽部のピアノ科を卒業後、アメリカに渡りました。プリンマー大学で学び、滞在中はアリス・ベーコン女史を師と仰ぎ、生活を共にしながら事業を助け、平和運動にも携わり、アメリカに9年間滞在中、日本に帰国しました。

帰国後、兄の家の設計をするヴォーリズと出会い、1919年(大正8)結婚。結婚式はヴォーリズが設計した東京の明治学院礼拝堂で行なわれ、国際結婚はまだ珍しい時代で、しかも華族の令嬢と外国人との結婚は、大事件として新聞にも大きく報道されました。

その後も満喜子は幼児教育研究視察のために渡米。アメリカ滞在中に出会ったハイド夫妻は、満喜子の教育事業に賛同し、3万ドルの寄付をします。これによって建てられたのがハイド記念館と教育会館で、優れた歴史的建築物として、国の有形文化財に登録されています。アルバート・アレキサンダー・ハイドは敬虔なクリスチャンで、メンソレータム(当時。現在はメンターム)を発明した人でもあり、日本におけるメンソレータムの製造・販売権をヴォーリズに与え、彼の事業を支えた人でもあります。

吉田悦蔵は1933年(昭和8)〈近江勤労女学校〉(のちの近江兄弟社女学校)を創立し、同時にメンソレータム工場の女子従業員のために〈向上学園〉を発足させました。婦人たちの活動も活発で、料理教室、英会話、ピアノ、手芸、体操など、幅広い分野で行なわれるようになりました。吉田の妻 清野も自宅で〈近江家政塾〉を始め、婦人教育に力を注ぎました。

こうした手づくりの教育環境が、今日の近江兄弟社学園の学校教育の基礎になっているといえます。近江ミッションは、農村福音学校託児所、幼稚園などを琵琶湖周辺に設立し、伝道船ガリラヤ丸により活発な湖国伝道を展開しました。

この間、ヴォーリズは太平洋戦争はっ発直前、外国人が国外退去を強いられる状況の中、日本に帰化する決断をし、1941年(昭和16)満喜子の籍に入って日本人一柳米来留となりました。戦後、マッカーサー元帥側近に面会し、天皇が戦犯となることを回避させたといわれています。



創立者 William Merrell Vories (1880~1964年)
一柳満喜子 (1884~1969年)
独立自給しながら、福音に基づくクリス教的生活を実践しました。



創立

1905年(明治38)2月、YMCA(キリスト教青年会)からの仲介によってアメリカ人青年、ウイリアム・メレル・ヴォーリズは、初めて近江八幡の土を踏み、滋賀県立商業学校(現・滋賀県立八幡商業高校)の英語教師として赴任しました。

ヴォーリズは熱心に英語を教える一方、来日の際の条件どおり、放課後、下宿でバイブルクラス(聖書研究会)を開き、多くの生徒に感化を与えました。しかし当時はそれをよく思わない人々もあって、わずか2年で教職を解かれてしまいました。ヴォーリズはその後近江八幡に留まり、建築設計や医薬品製造などによって独立自給しながら、福音に基づくクリス教的生活の実践を目指しました。県下各地にキリスト教会館(YMCA)を建設、伝道出版、医療(近江サナトリウム。現・ヴォーリズ記念病院)、図書館などの社会事業を展開。これが、近江兄弟社の始まりとなりました。

ヴォーリズと結婚した一柳満喜子は、おやつを食べながら何をする事もなくたたずんでいる近所の子供たちに、遊び場を提供する必要性を感じ1920年(大正9)プレイグラウンドを始め、これが1922年(大正11)滋賀県の認可を受けて〈清友園幼稚園〉となりました。

1933年(昭和8)にヴォーリズの協力者、吉田悦蔵によって設立された〈近江勤労女学校〉などを母胎として、戦後、1947年(昭和22)に近江兄弟社中学校、1948年(昭和23)に近江兄弟社高等学校を開設。1947年(昭和22)に創設した近江兄弟社小学校を併せて、1951年(昭和26)には〈学校法人近江兄弟社学園〉となり、今日に至っています。ヴォーリズは近江兄弟社学園の初代理事長に、満喜子は学園長に就任しました。

音楽にも造詣が深いヴォーリズは、讃美歌236を作詞作曲しました。彼が作詞した校歌(Our School Song)では、夫妻の描いた学園教育の理想が高らかに歌われています。

(作詞：一柳米来留 作曲：Robert Schumann)

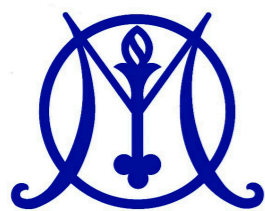
1. われら若き日に わけゆく正道 神と人との愛 平和と協力
2. 全き人イエスの 御跡をふみつつ 美と能力との業 身とたまを磨かん

建学の精神

「イエス・キリストを模範とする人間教育」

イエス・キリストの言行は、新約聖書「マタイ」「マルコ」「ルカ」「ヨハネ」の4福音書に記されています。この4福音書を教材として、人間教育を行ないます。「人間教育」とは、まず独断・偏見に捕らわれない自由人になるということです。奉仕・隣人愛・寛容を大切にする心を育てます。また節制により健康な身体を育てます。創立者の一人、一柳満喜子は、「Do(行なう)の精神をもって日々歩みなさい」と表現しました。考えるだけでなく、実際に身体をつかって行動をおこすことを忘れてはいけないという意味です。

また学園訓を「地の塩 世の光」と定めています。



近江兄弟社学園 校章
近江兄弟社が創立されたころ、近江ミッション(Omi-Mission)と称していました。このOとMを重ね、中央にキャンドルをデザインしています(1949年制定)。

学校法人 近江兄弟社学園

〒523-0851 滋賀県近江八幡市市井町177

TEL : 0748-32-3444 FAX : 0748-32-3974